

# 「フラップES」で、快適に 楽しく使える手洗い空間を演出

## 開放的で清潔な空間に生まれ変わった小学校トイレ

無機質で使いづらかった従来の「こども用手洗いカウンター」が、デザイン性と機能性を兼ね備えた設備へと刷新された。大阪府のある小学校では、昨年度に行われた老朽化したトイレの改修に併せて、建材メーカー・株式会社エービーシー商会が開発したシンク一体型手洗いカウンター「フラップES」を導入した。そこで、導入から約1年が経過した現在の評価について、実際の学校関係者に児童の反応を交えて取材した。

### 学校トイレの洋式化改修を推進

学校施設のトイレ環境を改善することは、児童生徒の健康保持、安全確保、そして教育環境の質的向上に直結する重要な施策だ。文科省は、老朽化が進み臭い・汚い・暗いと指摘されることも多い学校トイレの洋式化・ドライ化を強く推進しており、令和5年9月時点の調査によれば、公立小中学校における洋便器の設置率は68.3%に達している。しかしながら、依然として約3割の便器が和式であり、地域や学校種別による格差も残存している。

個室によるプライバシー対応、明るく落ち着いた色彩設計による心理的配慮、そして床面の乾燥を維持するドライ化などが挙げられる。これらの整備は、児童生徒が安心してトイレを利用できる環境を提供することにも、清掃作業の効率化や感染症対策にも寄与するものである。

### 洗面台の改修に求められる機能と設備

こうしたトイレ改修に併せて、洗面台（シンク）の整備も各地で進められている。洗面台は単なる手洗いの場では

## 衛生習慣の形成に貢献—。子どももの手洗いが積極的

なく、衛生習慣の形成を育む教育的な役割も担っており、改修にあたっては、次のような観点を踏まえた機能と設備

望ましい。特に特別支援教育を受ける児童生徒に配慮したユニバーサルデザインの導入は、インクルーシブ教育の理念にも合致する。角の丸み加工や滑り止め、床材の採用など、安全面への配慮も欠かせない。

第三に、教育的価値の観点からの工夫が求められる。洗面台は衛生教育の実践の場であり、生活習慣の定着を促す環境でもある。

### デザインと配色が与える心理的効果

近年では洗面台の機能性向上に加え、デザインや配色にも注目が集まっている。従来の学校の洗面台は白やグレーを基調とした無機質なデザインが大半を占め、子どもにとって魅力的とは言いがたかった。近年では色彩心理学や空間デザインの知見を取り入れた洗面台も採用されるようになっており、衛生習慣の定着や情緒面への好影響が報告されている。

例えば、明るいブルーやグリーンは清潔感と安心感を与え、手洗いへの抵抗感を軽減

する効果がある。これらの色は自然や水を連想させるため、衛生行動との親和性が高い。一方、オレンジやイエローなどの暖色系は活力や前向きな気持ちを引き出し、使用時の気分を高める効果が期待される。

### みんなが快適に使える、手洗いカウンター

こうした中、大阪府のある小学校で導入されたのが、シンク一体型手洗いカウンター

する遊び心をプラスして、空間に合わせたカラーコーディネートが楽しめるのが特徴になる。

こだわりの一つが、小学生

### ◆子どもの体格に合わせて選べるカウンター高さ

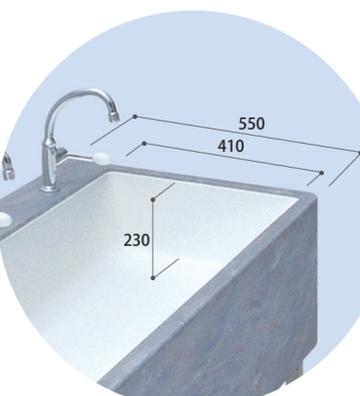


小学1・2年生におすすめ 小学3・4年生におすすめ 小学5・6年生におすすめ

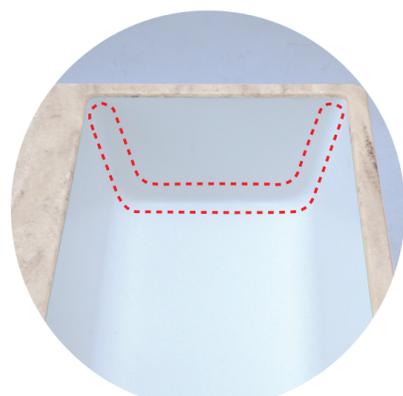
### 児童のきれいに使う意識が高まる

トイレの老朽化改修から約1年が経過し、学校現場では児童の衛生意識や施設の使用に大きな変化が見られている。学校関係者は「改修後のトイレは空間が明るくなり、すっきりとしたデザインによって印象が一変。児童が自発的にきれいに使おうとする姿勢が育まれ、トイレや洗面台の魅力を誇らしげに語る様子も見られる」と話。

特に、新しい洗面台は人工大理石製のため、以前のステンレス製と比べて水アカや指紋などの汚れが目立ちにくくなったほか、「シンクは中央が低くなったため、排水口の掃除が非常に楽。汚れも拭き取りやすくなっているため、清掃担当の児童や教員の負担が軽減されました」と続けた。



大人もゆったり使える、使い勝手のよいサイズ設計が魅力



シンクの四隅すべてがR形状。ゴミや汚れが溜まりにくい設計

「フラップES」だ。本洗面台は、豊富なカラーバリエーションで空間を明るく演出し、手洗いの時間を楽しいひとときに変えることをコンセプトに開発された。

シンクはオリジナルカラーのESホワイトを採用し、カウンターカラーは優しい色合いのオレンジやグリーンなど、60種類以上から選択可能。従来のステンレスシンクやモルタルシンクのイメージを一新

### 素材はキッチン

から大人まで快適に使えるサイズ設計。無理なく水栓に手が届く奥行設定（500mm）と、耐水性に優れたため、また、継ぎ目のない仕上げのため、日常の汚れも水拭きやキッチン洗剤をかけた布で拭くだけで、手が届かない部分も、500mmの幅で調整できる。カウンターは3人用（幅1500mm）と5人用（幅2500mm）の2種類で、3人用×4台と5人用×2台など複数台組み合わせ設置することもできる。しかも、カウンターの幅は1mm単位で調整できるため、設置場所に隙間をつくらずぴったり収めることも可能だ。

カウンターの高さが子どもの体格に合わせて選べるのもうれしいポイントといえる。低・中・高学年の子どもの体格に応じて、だれでも自然に手を伸ばして使えるサイズ展開は、毎日使う場所だからこそ、学校生活の質を大きく変える要素になる。



取材現場での実際の画像。カウンターの幅は1mm単位で調整が可能。（写真右）各洗面台にはバケツを置く深さの「SKシンク」も設置（大阪府内小学校）

### デザインがもたらす安心感を実感

そんな洗面台のカウンターの色は、「男女を特定しない明るい色としてイエローとオレンジを選びました（男子側が明るい色を基調としたデザインの効果として）」。以前は暗いトイレを嫌がって我慢する児童もおり、膀胱炎などの健康リスクを懸念していた。洗面台も清潔とはいえず、手洗いを急いで済ませる児童が多く、そこから感染症につながることが心配していた。今では洗面台も含めて明るく清潔な環境になったことで、児童がトイレを躊躇することが減り、手洗いの積極性も高まりました。

また、設置後の児童の様子を観察する中で、「例えば、高学年の女子児童が洗面台の鏡の前で身だしなみを整える姿が見られるようになるなど、清潔感と暖かみのあるデザインが子どもに安心感を与えている」と語り、それがいじめなどの問題の抑止につながる可能性も示唆した。

### 手洗い習慣の定着に貢献

学校施設における衛生環境の維持は、子どもたちの健康



[商品情報]フラップES

[企業情報]

お問い合わせ：(株)エービーシー商会  
デザインインテリアル事業部 電話 03-35507-7158